

R.i.District 2610, ROTARY CLUB OB UOZU

魚津ロータリークラブ会報誌

2015-2016年度 R I 会長 K.R. ラビンドラン

2015-2016年度 魚津RC会長 羽田 陸朗



第3001回 例会

2016年 1月 8日

- 1、点鐘・握手
- 2、黙祷
- 3、日本国歌「君が代」 斉唱
- 4、ロータリーソング「奉仕の理想」 斉唱
- 5、「四つのテスト」 唱和（辻 職業奉仕委員長）
- 6、ゲスト・ビジターの紹介 なしでした。
- 7、誕生祝

•1月10日 平崎夫人

家内の誕生を祝って頂き、ありがとうございます。
真剣に、この花で祝ってやりたいと思っています。

•1月14日 坪野さん

55歳になります。
魚津ロータリークラブに入会して3年半たちました。
従来同様、ロータリー活動に一所懸命頑張っていきます。
皆さん！よろしくお祈りします。

•1月17日 佐藤さん

1960年生まれ、来週56歳になります。
健康に注意しながら、マイペースで息災に過ごしたいと
思っております。今日はありがとうございました。

•1月18日 根岸さん

1922年(大正11年)1月18日生れ、94歳になります。
人生は長いようで短いものです。
振りかえってみれば、まだまだ面白いことがあるかな～と思って
おりますが～。

長い間、40数年間、ロータリーで世間の事学ばせて頂きました
先程、奥さんの誕生日を祝ってもらった人がおいででしたが、
私の女房は昭和53年になくなり、53歳でした。私と一緒に
職業を励んでもらったのは25年間でした。

ロータリーに入らしてもらって2年目で亡くなりました。

今後とも女房のおらん爺ちゃんですが、お付き合いをしていただきますよう、どうぞ
よろしくお願い致します。

•1月11日 青山さん

信心深い方ではないのですが、運命の本を見ますと、今年と
来年がピークだそうです。その後は大殺界に入ります。
ここ1～2年、頑張り、その後少しプレーキになる予定です。



8、会長挨拶(羽田会長)

- みなさん、おめでとうございます。

これで半年終わりましたが、あっという間でした。

残された六か月間一所懸命頑張ります。

今年は新年の新聞で「丙申」(ひのえさる)の語源が載っていました

「ひのえ」については、陰と陽の陽を意味している。「太陽の光」をいう。

株の乱高下など厳しい一面もありますが、活気溢れる一年になりますよう祈念いたします



9、乾杯(羽田会長)

- ご指名により乾杯します。

「活気溢れる一年でありますように、乾杯！」



10、幹事報告(川岸幹事)

- (1)各種団体より年賀状が来ています。

- (2)1月の例会案内

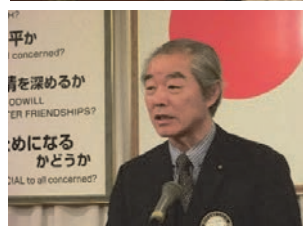
- ・1月19日(火)午後6時より、喜楽において、魚津西ロータリークラブと合同夜間例会があります。

- ・1月22日(金)午後0時30分より例会。

ゲスト卓話、講師は魚津工業高等学校インターアクトクラブの皆さんです。

- ・1月のSAA補助は、中尾さん、宮本さんです。

- ・例会後、3000回例会記念の「帽子」を配布いたします。



11、出席報告(宮本出席委員会)

- ・本日の出席は26名、欠席は4名、出席率は86%です。

- ・2999回の例会修正出席率は、メイクアップなしで、79.31%です。



12、ニコボックスの報告(坪野ニコニコボックス委員長)

- ・羽田会長より、「半分が過ぎました。引き続きよろしく」

- ・野沢さんより、皆出席(10年)表彰お礼。

- ・大村さんより、皆出席(19年)表彰お礼。

- ・辻さんより、皆出席(34年)表彰お礼。

- ・寺崎さんより、「本年もよろしく」

- ・宮本さんより、「おめでとうございます。桃山の花桃にお年玉をやってきました。

インフルエンザがありますので、皆さんご注意をして下さい。」



13、委員会報告

- (1)広報委員会より「ロータリーの友」の記事紹介(清水広報委員長)

- ・RI会長メッセージより、「私たちが目指す世界へのプレゼントになろう」

- ・職業奉仕を实践の「教職員の企業研修を支援」記事があります。魚津での話ですが最近小・中学校の先生が中途退職し、専門学校や塾の講師をする人が多いと聞きました。その原因の中には生徒の指導が出来ないや親が先生を訴えることが多いという。学校への理解を深めて欲しいとお願いされました。

- ・みんな力を合わせる「インターアクター」の活動事例が記載されています。

- ・ロータリー・ネットワークでは各地域の活動事例が載っています。参考に。

- ・わがまちーそしてロータリーでは栃木県足利市が紹介されています。

ロータリーの見識を深めて欲しいということです。

11、会長・常任委員長の年頭卓話

・会長の年頭挨拶(羽田会長)

年度の半分が終わり、残り半分精力を尽きたいと思います。

沢山の人達と行事に参加したいと思っています。皆さんの参加をお願いします。

ロータリーは地域社会に根ざして存在しています。今年の標語「ロータリーをする」

「世界へのプレゼントになろう」「Be a gift to the world」

「ロータリーを楽しみながら、よりよい絆を作り、家庭や地域で実践を楽しむ」です。

初心を忘れないように、残り半年頑張りたいと思っています。

・四大委員長抱負

(1)クラブ奉仕委員会(中田委員長)



・2016年が始まりました。新年早々、水爆・紛争・株価の下落などがあり、大きく動く年になるのではと思っています。

・魚津クラブで残り半年間、クラブの活性化に努力します。

・会員増強については新しい話を進めています。6月までに1~2名増強したいと思っています。

・親睦として、2月には家族旅行があります。家族を巻き込んだ中に楽しい会にすることが会の繁栄に繋がると思います。

・また、年末には募金をしましたが対外的活動をし、市民の理解を頂くことも会の発展に繋がりたい。

・来期の会長として組織作りもしなければなりません、委員長として残り半年間頑張っていきますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

(2)職業奉仕委員会(辻 委員長)



・先輩から、職業奉仕は自分の職業を一生懸命頑張ることでであると言われてきました。

・「ロータリーの友」に職業奉仕の神髄というテーマで記事がありました。鹿屋ロータリーの人ですが「職業を通じて社会に奉仕する」ですが、具体的にはロータリーの運動は哲学

ではなく実践である」、職場の朝礼などを実践する。仕事には目立たない細かい所に目配りをするとあります。

・先輩は私が出来ることが靴を揃えることを実践されていた。自分も気持ちが良いしお客様も良いのではないかとということでした。

・計画書に優良従業員表彰がありますが、今年は1月にします。

皆さんから表彰に該当する従業員名を提出して頂き、その中から表彰したいと思っています。よろしくご協力をお願いいたします。

(3)国際奉仕委員会(野沢委員長)

・世界社会奉仕委員会、ロータリー友情交換委員会、国際青少年交換委員会の3つの小委員会があります。

・前期は何も出来なかった。

・後期は1~3回それぞれの委員会をし、どのように取り組んでいか話をしたい。少しでも掘り下げたいと思っています。



(4) 社会奉仕委員会(中尾副委員長)

- 中島委員長の代理とし新年の抱負を申し上げます。
- はじめに、前期の事業として12月24日つくし学園をサンタさんで訪問しました。
つくし学園よりサンタさんへのメッセージを頂きました。「サンタさん、プレゼントを持ってきて頂きありがとうございました」と。
本をプレゼントをし、非常に喜ばれました。
喜ばれることは奉仕なのかな～と思いました。
- また、12月24日インターアクトとの歳末助け合い募金を羽田会長と寺田委員長が市役所へ届けました。
- 残り半年間の事業として、2月には桃山運動公園で消毒し、4月には整備します。
- 6月には水族館公園の犬伴家持歌碑の近隣整備を計画しています。
5月には、プレ植樹祭がありますので、皆様に見てもらいます。
- 貢献出来ることはいいことかな～と思っています。



12、会長ノミニー(愛宕さん)の抱負

- 至らない私ですが、来年7月から1年間会長をいたします。
今から準備をしっかりと、やりたいと思っています。
よろしくお願い致します。



[あしがき]

- 激動の2015年が終わり、不安定な2016年が始まりました。
- 地球社会は多くの難問を抱え、人間の従来の考え方や力では解決が難しい時代になりました。
- アメリカの政治学者サミュエル・P・ハンチントンが1996年「文明の衝突と世界秩序の再創造」の中で「文明の衝突」を提唱しました。
それから20年経ちました。現在の世界の危機はその理論だけでは説明できない複雑な事態になっています。
- 中国や北朝鮮問題は、どこかの過去の帝国に似ています。
その結末は、幾らか歴史が表しているのではないのでしょうか。
「愚かな人間は、歴史を繰り返すのでしょうか」
弱小国「日本」だけでは、解決不能です。多くの知恵を結集し、時間をかけて解決して欲しいものです。
- 去年は富山市在住の梶田さんがノーベル賞を受賞しました。
私達の魚津も例外ではありません。
石垣新出身のプロ野球ロッテの石川選手、本江出身の少年将棋王の藤原兄弟、今度全国高校ラグビー大会決勝で活躍した立石の柴田選手などなど、全国規模で大活躍している多くの市民がいます。
- また、正月の新聞に「加賀から江戸 城めぐり」に県内では高岡城・富山城・魚津城が載っていました。加賀の前田利家と越後の上杉謙信の戦いで有名であると説明しています。
先人の偉業と現代の光る人々を大切に、そして参考にして、将来の発展に結び付けたいものです。

・ポールハリス語録ーその11

世界は一つの大オーケストラのようなもので、私たちひとりひとは、自らの取るにたりない一部を演奏しているに過ぎません。あなたの楽器や私の楽器の成否は、その音量によって決まるのではなく、周囲の楽器といかに完璧に調和しているかによって決まります。得意になって、自分のホルンを高らかに鳴り響かそうとする人は、調和を乱すだけではなく、他の奏者にとって迷惑となるのです。私たちは一人で演奏しているのではなく、大きな全体の中のほんの一部に過ぎないのです。ロータリーが、この事実を私たちに納得させることができるなら、私たちの生活は周囲の人々の生活と調和するようになるばかりでなく、その生活がより楽で、生きるに値するものになる、と気づくでしょう。

(ナショナル・ロータリーアン、1912年3月号)